

オックスフォード大学の大学院生が FAVA ワンヘルス福岡オフィスを訪問



令和6年7月19日(金)、オックスフォード大学地球環境研究科に在籍する大学院生のシントウ・デブクマールさんが修士論文の調査のために、FAVA ワンヘルス福岡オフィスを訪問し今村和彦副所長にインタビューしました。

シントウさんの研究は、ワンヘルスの視点から防災、災害対応、災害救援の関係を考察し、災害時における人間、動物および環境の健康問題に対する日本の対策を、開発した「指標」を用いて評価しようとする野心的なプロジェクトです。これにより、国および地方の制作を評価し、必要であれば改善策を提案できると期待されています。



インタビューでは、これまでの日本の被災地における災害救援活動やその課題、ワンヘルスの専門家、行政関係者、一般市民の間のワンヘルスに対する認識のギャップなど、幅広い分野について活発的な意見が交わされました。